

大学院音楽研究科音楽文化学専攻の一研究分野として、従来より我が国で音楽専門基礎教育の重要な位置付けとなっているソルフェージュ教育について研究を行うことを目的としています。

修士課程では専門基礎教育の方法論やソルフェージュそのものについての研究など各研究内容に応じて「演習」「実習」「特殊研究」の開設があり、各種技能の訓練や教育法などについての考察、ディスカッションを通して実技の成果発表や論文執筆のスキル向上をはかります。なかでも「演習」においては所属する全学生と複数の教員とで構成されるゼミナール形式で特定のテーマについて討議、報告が行われます。

また演奏実技の研究、修練のため「ピアノ実習」を設け、継続的で柔軟な取り組みが行われます。同様に選択科目として開設される「音楽研究基礎」「原典特殊講義」によって各自の研究の基礎となる知識を得ること、他専攻や学部開設科目履修により幅広い研究活動に活かすことなども、学会発表や学外の教育活動の準備として活用できます。

学位取得に際しては修士論文審査とともに演奏審査が行われます。